

2018年度TIFA総会

5月19日（土）、午後3時から柴崎会館にて TIFA 定期総会が開催されました。会員数74名の内、40名の委任状と28名の出席者をもって総会は成立しました。事務局の富田さんの司会により、木曜教室の柏田さんが議長に選出され議事が進められました。昨年度の各部活動報告などでは、西砂教室、柴崎土曜教室、柴崎木曜教室のそれぞれの活動が詳細に報告されることで、お互いの活動内容に関心を持たれた質問が多かったです。2016年度より毎月1回定期的に開設している「えんがわ」サロンの活動に、TIFA 設立の原点を感じて期待を寄せる声もありました。



ボランティア懇親会

6月2日（土）12:00～13:30、TIFAのボランティア懇親会をグランドホテル11階オークで開催しました。参加者は木曜教室から5名、土曜教室から11名で、屈託のない会話とランチバイキングを楽しみました。昨年度、入会した5名のボランティアから簡単な自己紹介があり、その方々の人柄を知る良い機会になりました。会食をすることでお互いを知ることができ、親睦をはかる上で必要なことだと感じました。



他者に思いを寄せる多文化共生社会

立川国際友好協会 会長 齋藤 寛

これからの日本社会の在り方を端的に表現すれば、もっと他者に思いを寄せる人間力を結集できる社会に、移行させる必要性があると言える。



格差社会を放置せずに、他者と共に生きるためにはどうするかを考える意識を深めることが大切である。われわれ日本人は、己の事だけを考えていたのでは社会組織は守れず、最終的には自分の生活も維持できなくなる事を3. 11の大災害でも学んだ筈である。万一自分が無事でも、被害者の苦しみ悲しみも自分の事と

受け止めて、他者のために尽くすという日本人の美徳が、諸外国から高く評価された実績がある。

ところが最近の風潮は、リーダー層が責任を回避・分散させて自分勝手な生き方を助長し、利益を守る仲間の便宜を図り合い、その仲間に入ること自分の利益も得るという集団や仲間の世界が広がっていくような気配が、危機的に拡大しつつある。ノーブレス・オブリージの精神を欠いている証左である。

これは、新たな社会崩壊の兆しではないかとさえ思われる。この危機感から脱することが、他者に思いを寄せる多文化共生社会の実現であると考え。

土曜教室ボランティア研修会

6月23日（土）、ボランティア教師の研修会を柴崎学習館 2 階調理室で開催しました。参加者は 12 名で研修の内容と講師は次の通りです。

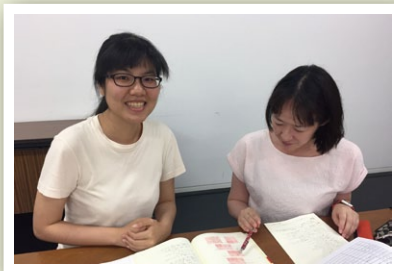
- ①インターネット等のメディアを使った日本語学習について
- ②初級日本語学習について
- ③「JF日本語スタンダード」及び教科書「まるごと」について

橋本講師が勤務する日本語学校で利用するインターネット上の教材について紹介があり、次に杉本講師が今まで担当した受講生を例に入門・初級学習者への教え方及び体験談についてユーモアを交えて話をされました。最後は他講師から言語能力を計る尺度と学習の場で共有される枠組みや日本での日本語教育スタンダードの取り組みについての説明がありました。約2時間の短い時間でしたが、和気あいあいとした雰囲気の中で熱心な討議と交流が行われました。



土曜教室の受講生紹介

氏名：陳 静雯（チェン ジンウェン） 20 歳代 女性



出身地：台湾 高雄市

現住所：立川市 錦町

来日時期：2017 年 7 月

日本での生活：私は小さい頃から、いろいろ日本のアニメを見ました。だから、ずっと日本に行きたかったです。去年、ワーキングホリデーのビザを使って日本に来ました。そして一年間の日本生活が始まりました。この一年間、いろいろな場所に遊びに行きました。東京だけでなく、埼玉、神奈川、さらに大阪や京都にも行きました。台湾ではバイクが多いが、日本は自転車と電車が多いです。だから日本の方が空気が綺麗でおいしい。日本の皆さんは植物に優しい。日本は自然と共存の国です。素晴らしいと思います。

たかったです。去年、ワーキングホリデーのビザを使って日本に来ました。そして一年間の日本生活が始まりました。この一年間、いろいろな場所に遊びに行きました。東京だけでなく、埼玉、神奈川、さらに大阪や京都にも行きました。台湾ではバイクが多いが、日本は自転車と電車が多いです。だから日本の方が空気が綺麗でおいしい。日本の皆さんは植物に優しい。日本は自然と共存の国です。素晴らしいと思います。

氏名：アクセニア・アンドレーバ 20 歳代 女性

出身地：モルドバ（旧ソ連）

都市：Chisinau（キシナウ）

現住所：小平市

来日時期：2017 年 9 月

職業：現在は、一橋大学の留学生で専攻は経済学です。

将来は、経済学で博士号を取って、教授になるつもりです。

趣味：写真を撮ること。色々な所を旅行して、沢山、美しい写真を撮りたいです。他にジョギングが好きです。

日本語で一番難しいところは漢字です。私の母国語であるロシア語では、このような文字はありません。



氏名：胡 高鈴（コ コウレン） 女性 30 歳代



出身地：中国 湖南省

現住所：立川市富士見町

来日時期：2008 年 3 月

日本での生活：数年前まで家族は日本と中国で別々でしたが、今は家族 4 人一緒に暮らし幸せです。

マクドナルドで仕事をしていますが、カタカナの外来語が多く分からないことがあります。日本は自動販売機が多く便利ですが、スーパーの閉店が早く不便です。

氏名：ガルジア リカルド 男性 60 歳代後半

出身地：メキシコ

メキシコシティ

現住所：府中市本町

来日時期：1987 年 7 月

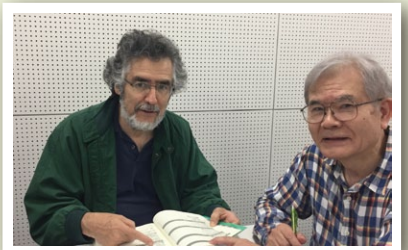
職業：電気通信 IT サポート

家族：息子 2 人、娘 2 人

趣味、特技：テニス、音楽

日本について：湿度が高い。交通マナーが悪い。

母国について：米の代わりにトルティーヤ（すり潰したトウモロコシから作るパン）に肉や野菜を入れて食べています。



氏名：嬌 秋影（キョウ チュウイン） 女性 30 歳代



出身地：中国

現住所：立川市

来日時期：日本人の夫と 3 歳、1 歳の子供がいて毎日、楽しく過ごしています。

日本人は挨拶をしても、返事を返してくれない人が多く寂しいです。あることを提案しても「あとで」、「考えておく」、「そのうちね」と言われ、知らないうちに決まってしまうことが多いです。まだ、日本語が上手ではありませんが、保育園からの「お知らせ」はだいたい分かります。日本と中国は漢字の意味が、全く違うこともあります。例えば日本語の手紙は中国ではトイレ紙です。

氏名：馬 颯（マ サー） 男性 40 歳代後半

出身地：中国 瀋陽

現住所：立川市曙町

来日時期：2018 年 4 月

職業：IT エンジニア
単身赴任で 1～3 年日本に滞在予定です。

家族：妻、娘 5 歳は中国にいます。

日本について：居酒屋が多い。中国では銀行は毎日、営業しています。東京は涼しく過ごし易いですが、上海は湿気が多く、気温が高く、冬は寒いです。日本語は難しいですが、少しずつ勉強するつもりです。



八王子国際協会の紹介

八王子国際協会（愛称：地球市民プラザ八王子）は2008年7月20日に設立され、今年10周年を迎えます。2004年に組織された「八王子国際交流団体連絡会」の事業を引き継ぎ、交流という視点に加え、多文化共生社会の実現をめざしています。八王子市の在住外国人は12,242人（2018年4月1日現在）と多摩地域でも群を抜いて多く（第2位町田市5,936人、第3位府中市4,940人）、協会ではさまざまな事業を展開しています。八王子市との協働事業という位置づけで市からの補助金・委託料が収入の約6割を占めていますが、語学講座受講料や翻訳・通訳料で自主財源も確保し、NPO 法人の認証もめざしています。現在、個人会員293、団体会員9、賛助会員6で会員総数は308です。

事業は多岐にわたっており、とても紹介しきれませんが、市内に23の大学が立地し、約3,700人の留学生が学んでいることもあり、留学生のための就職支援セミナーや企業めぐりといった他では見られない活動も行っています。事業全体の中では、生活・コミュニケーション支援事業がとりわけ充実しているように思われます。



——ゆっくり話ができる相談窓口「サポートデスク」——

八王子駅前、八王子（東急）スクエアビル11階の協会にはサポートデスクが開設されていて、月曜日～土曜日、午前10時～午後5時まで相談を受け付けています。日本語学習の相談や、学校・役所からの通知やお知らせの判読・解説の依頼にはじまって、医療、進学など多種多様な相談が毎月90～100件ほどあるそうです。専門的知識を要するものは、月1回開催している行政書士による個別相談につないでいるそうです。電話による

相談も多く、これは市内・都内にかぎらず、全国各地から寄せられるそうです。常時開設されている相談窓口はなかなかないので、インターネットなどで知った外国人が電話をかけてくるのではないかとのことでした。



外国人相談のためのサポートデスク

——医療通訳ボランティア——

外国人の多くは、医療制度の違い、言葉の壁などにより、医療に関する不安や悩みを抱えながら生活していると思われます。そこで、2011年に協会内に医療通訳ボランティア委員会を立ち上げ、行政と連携しながら、医療通訳の紹介事業を始めました。現在、英語、中国語など5言語30名の医療通訳ボランティアが登録しており、病院や外国人からの依頼に応じて年間50件程度受諾しているそうです。一般市民向けの検診ガイドや予防接種ガイドの多言語訳を、八王子市から受託しており、英、中、韓、スペイン語訳が近く完成する予定です。

また、保健所や保健福祉センターで行われる乳幼児健診などについては、日本語表記の案内しか準備されていないので、保健所と連携し、外国人向けの案内には「日本語のわからない方は八王子国際協会へご連絡ください」という文章を同封し、必要に応じて対応しているそうです。

医療・保健は健康で快適な生活を送るためには欠くことができないサービスで、そこに日本人・外国人の違いはありません。この分野で弱い立場に置かれがちな外国人に適切なサービスを受けられるよう支援する大切な事業です。

——防災・災害対応事業——

災害時の外国人支援について、八王子市では支援のスキームが確立しています。

大地震発生と同時に、協会内にただちに「外国人支援センター」を立ち上げ、外国人支援を一元化するとともに、外国人の避難場所に指定され、非常食・飲料水、医薬品などが備蓄されている市内17箇所の市民センターと防災無線で連絡を取りながら、翻訳・通訳などの支援を行うというものです。協会に登録している語学ボランティア（現在約270名）が翻訳・通訳の作業に当たるといっていますが、基礎自治体でこのようなスキームを確立しているところは少ないのではないのでしょうか。

また、町会・自治会と連携して、各地区の防災訓練に留学生と語学ボランティアと一緒に参加したり、外国人の集住地区では、外国人のみを対象とした防災訓練を、市役所や消防署と連携して実施したりしています。

日本で暮らす外国人の4割は、来日するまで地震を経験したことがないとも言われています。災害大国日本での多文化共生には、実効ある防災・災害対応事業は欠かせないと言えます。



外国人を対象とした防災訓練

西砂教室研修会へのお誘い

西砂教室の研修会を開催します。西砂教室の他、木曜教室、土曜教室のTIFA会員の皆さんも是非参加をお願いします。
昨年は国際基督教大学の半田敦子教授をお招きし、大変貴重なお話を戴きました。今年も、素晴らしい先生にお越しいただくことになりました。

日時：8月25日(土) 16時～18時

場所：西砂学習館 視聴覚室

講師：国立国語研究所 日本語教育研究・情報センター
野山広准教授

野山先生は現在、「外国人定住者の言語生活や言語習得に関する研究を行っている。」とのこと。参加をご希望の方は事前に下記メールまでお申し込みください。

satoh.kimio@jade.plala.or.jp 西砂教室 佐藤公男

西砂学習館住所：立川市西砂町6-12-10

<アクセス>

西武線：

西武立川駅より徒歩10分

立川バス：

バス停「松中」徒歩3分



土曜教室七夕まつり

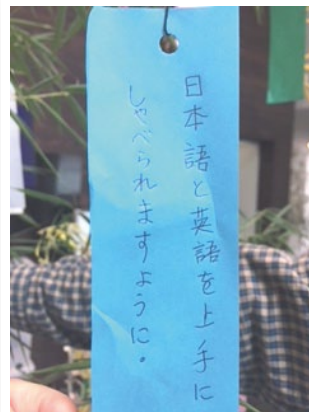
7月7日(土) 約20分間授業をして、そのあと3階の作業室に集合して七夕祭りを行いました。まずはみんなで一緒に、願

いごとを書いた短冊や
あみ飾り、ちょうちん
等の飾りものを竹の葉
に吊るしました。習字
の硯と筆も準備され、
中にきれいな字を書く
受講生もいて、ビック
リしました。飲み物と
お菓子を貰い食べまし
た。最後にみんなで「た
なばたさま」の歌を歌
い終了しました。



木曜教室七夕まつり

7月5日、七夕まつりを行いました。金、銀の折り紙で作られた天の川や赤、青、黄色の飾りつけのある笹の葉に短冊を一人一人がぶら下げました。短冊の願い事は母国語で書かれたものもありました。色とりどりの国際色豊かな短冊が笹の葉に揺れていました。最後に「たなばたさま」の歌を全員で合唱し、七夕祭りを楽しみました。



TIFA会員動向

【入会者】

木曜教室：なし
土曜教室：阿部 祐子 (5月)
西砂教室：なし

【退会者】

木曜教室：なし
土曜教室：阿部 祐子 (6月)
西砂教室：なし

【休会者】

なし

今後の予定

- ・防災館見学：7月21日
- ・西砂教室ボランティア研修会：8月25日(土)
- ・土曜教室 2学期開始：9月1日(土)
- ・西砂教室 2学期開始：9月8日(土)
- ・木曜教室 2学期開始：9月13日(木)